全日病 SQUE e ラーニング 看護師特定行為研修

フィジカルアセスメント

共通科目

115 演習

5.身体診察基本手技の演習・実習／部位別身体診察手技と所見の演習・実習

全身状態・緊急度の評価

岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長

薬師寺 泰匡 氏

一般社団法人 S-QUE 研究会

フィジカルアセスメント演習1

岸和田徳洲会病院
救命救急センター
薬師寺泰匡

本日の内容

目標

・多様な臨床場面における重要な病態の変化や症状を適切にアセスメントできる

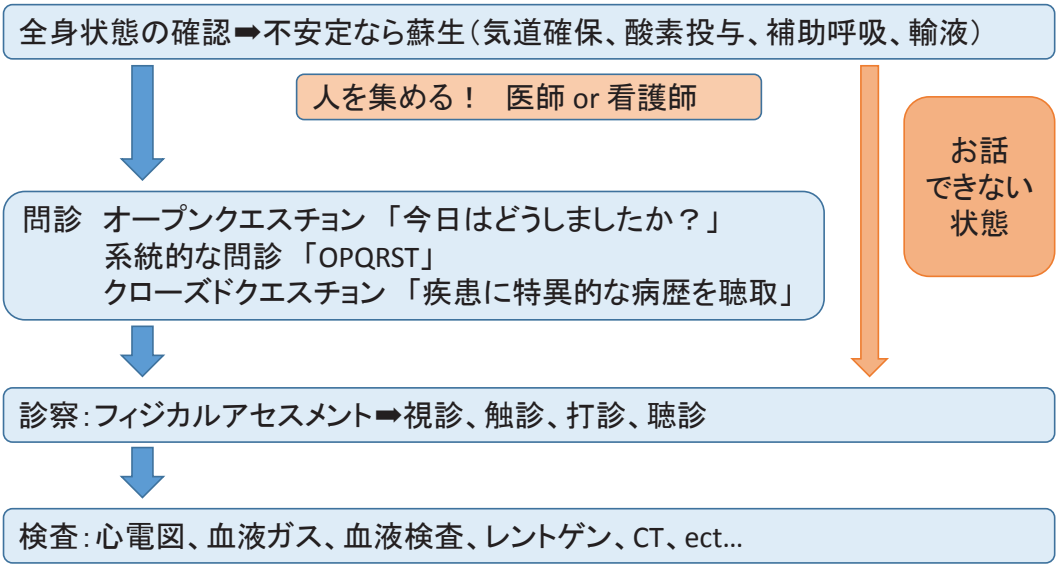
・今後必要となる処置や検査の予測ができる

内容

・症例で実際に主観的情報、客観的情報を系統的に取得できるように演習を行う

診断と治療の原則

診断への流れ



実際の診療の流れ

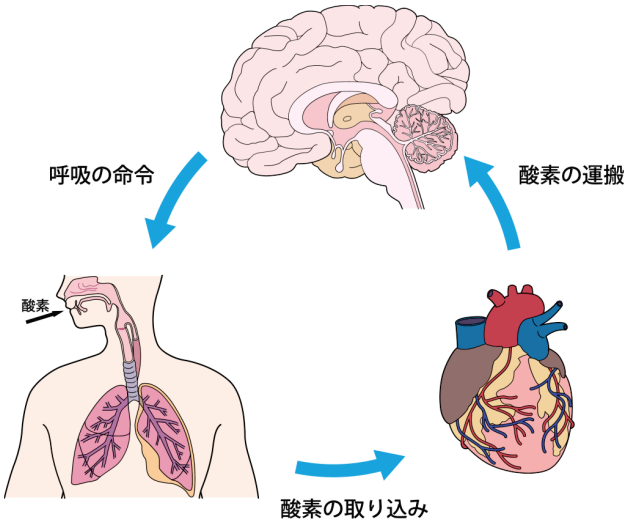
①緊急度の評価
　バイタルサインや周辺症状を評価する
　ABCの評価と確保
　　ゆっくり待てるのかどうか
　　応援を呼ぶべきかどうか
②問診と全身診察→原因臓器の認識
③疾患を想定した部位別身体診察と記録
④得た情報の評価➡ケア、治療

全身状態の評価

気道と呼吸と循環が担保されているか
アセスメントを行う

脳機能評価のため
意識の評価も行う

生命維持に支障を
きたす変化があるなら
すぐ介入が必要！



Thinking Time　25分

64歳男性

心臓血管外科かかりつけの患者

胸部大動脈瘤の評価目的に大動脈造影CTを撮影するため受診

CT室で胸苦しさを訴えています

Q.この人の全身状態が安定しているか不安定なのかを判断するため、どのようにフィジカルアセスメントを行いますか？気道、呼吸、循環、意識の評価方法を具体的に挙げてください。

Thinking Time　2分

24歳男性

歩行中に乗用車と接触転倒。頭部打撲しており事故の相手が救急要請。「ここはどこですか？」と繰り返している。

Q.この人の意識状態をJCSとGCSで評価してください。
この患者は自発開眼しています。簡単なコミュニケーションは可能で指示にも従います。

Thinking Time　2分

72歳男性

自宅で頭痛を訴えた後、意識が低下してきたため救急要請。

Q.この人の意識状態をJCSとGCSで評価してください。
この患者は痛み刺激で開眼しません。刺激に対して「うぅぅ・・・」「あぁぁ・・」と発語があり、疼痛部位に手は持ってきませんが逃避行動はあります。